

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	4	うるおい・雄武	整理番号	68
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	評価責任者	住民生活課長 渡邊 孝司
単位施策	2	応急体制の強化		

1 施策の概要

基本方針	大災害・有事の際、初動を迅速・的確に対応できるよう、情報伝達や避難、応援要請、医療救護などの体制の充実を図る。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	大規模災害や有事は、平穏な日常生活の中では想像しにくく、一度起こると人命が失われたりしており、あらゆるケースを想定した防災体制づくりが急務である。	災害時における避難訓練を通じて、情報伝達体制の確立を図っている。
	【課題】（平成21年度末）	
	住民と行政との情報伝達体制の確立が求められている。	災害時における的確な初動体制を確保するための、迅速かつ正確な情報伝達による、情報の共有化を図ることが求められている。

2 基本施策指標

指標1	指標名	防災訓練の年間実施回数						
	定義等	雄武町総合防災訓練の実施回数						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	0回	0回	0回	1回	1回		1回
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	【再掲】地域ぐるみ防災推進事業	住民活動係	468	B	継続／拡充	A
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	国民保護法に基づくテロや武装攻撃、津波などの自然災害の情報伝達や避難体制の確立は行政の使命である。
② 有効性	B	国・道からの防災情報は瞬時に伝達される体制は既に確立されており、住民に対し正確で迅速な情報を伝達し、有事における初動体制の確保が必要である。
③ 効率性	B	有事における情報伝達体制の確立を図り、的確に対応できる体制づくりが必要である。
④ 公平性	B	有事における情報伝達、初動体制などを確立するもので、全ての住民の生命と財産を守るための施策であり公平である。
⑤ 町民意見の反映	B	特に町民の意見を聞く場を設けていないが、町民と意見交換しながら体制確立を図っていく。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
防災無線（同報系・移動系）などの整備によって、情報伝達方法は確立されたが、迅速かつ正確な伝達体制を構築することが必要である。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続／拡充	継続／拡充	
迅速かつ正確な情報伝達体制を確保し、迅速な応急体制を図るため、自治会組織や防災関係機関との連携強化を図る。	同左	

*今後の方向性の区分

○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止